

大和市 舗装修繕計画  
(舗装の個別施設計画)

令和3年3月



大和市

## 目 次

1. 舗装修繕計画の目的 .....	1
2. 舗装の現状と課題 .....	1
3. 舗装の維持管理の基本的な考え方 .....	3
4. 計画期間 .....	8
5. 対策の優先順位 .....	8
6. 舗装の状態、対策内容、実施時期 .....	9
<b>【別紙1】</b> 今後概ね5年間に実施する舗装の修繕内容 .....	10

## 1. 舗装修繕計画の目的

本市では、令和3年3月現在、559kmの道路を管理しており、都市活動や市民の暮らしを支える重要な都市基盤として、高度経済成長期に集中的に整備されたものです。定期点検や日常パトロール等により適切な維持管理に努めてきましたが、今後、道路舗装の老朽化による維持管理費の増大が見込まれます。

このため、市民の安心・安全を確保するために舗装の状況を調査し、対策が必要となる時期や範囲を適切に把握して、計画的に維持管理を実施することを目的として、平成28年3月に「大和市 舗装修繕計画」を策定し、適切な維持管理を実施しています。本計画は、最新の点検結果に基づき、舗装修繕計画を更新するものです。

## 2. 舗装の現状と課題

### (1) 管理道路の現状

本市が管理する道路及び計画対象道路の延長について表-1に示します。なお、本計画では、道路網の骨格を形成する交通量の多い道路や災害発生時の避難、救助、物資の供給等の応急活動のために必要な道路を重要な道路と位置付け、幹線道路、緊急輸送道路、バス路線を計画的な修繕の対象としています。

表-1 管理道路及び計画対象道路の延長

道路区分	管理数量		計画対象数量 <sup>※</sup>	
	路線数	延長 (km)	路線数	延長 (km)
1級幹線	18	28.9	18	30.2
2級幹線	24	27.8	24	29.4
その他	3,535	494.5	1,375	320.7
独立専用自歩道	38	9.9	0	0.0
計	3,615	561.1	1,417	380.3

※計画対象延長は、路面性状調査<sup>※</sup>による調査延長であり、調査車線や走行軌跡により管理延長より多くなっている。

### (2) 舗装の現状

本市では、令和元年度に計画対象道路について定期点検（路面性状調査<sup>※</sup>）を実施しました。定期点検では、路面の「ひび割れ」、「わだち掘れ」、「縦断凹凸」を調査し、これらの3項目から算出されるMCI<sup>※</sup>（Maintenance Control Index：舗装維持管理指数）にて路面の損傷状況を評価します。

調査結果は、平均MCIが6.0であり、健全とされるMCI5.1以上の区間は約286km（75.4%）、早急な補修が必要とされるMCI3.0以下の区間は約4.9km（1.3%）でした。

表-2 舗装の損傷状況

(単位：km)

道路区分	5.0 < MCI	4.0 < MCI ≤ 5.0	3.0 < MCI ≤ 4.0	MCI ≤ 3.0	合計
全体	286.7 (75.4%)	63.4 (16.6%)	25.3 (6.7%)	4.9 (1.3%)	380.3 (100%)
1級幹線	26.9 (89.2%)	2.7 (8.8%)	0.6 (2.0%)	0.0 (0.0%)	30.2 (100%)
2級幹線	23.7 (80.4%)	4.1 (14.0%)	1.2 (4.2%)	0.4 (1.4%)	29.4 (100%)
その他	236.1 (73.6%)	56.6 (17.7%)	23.5 (7.3%)	4.5 (1.4%)	320.7 (100%)

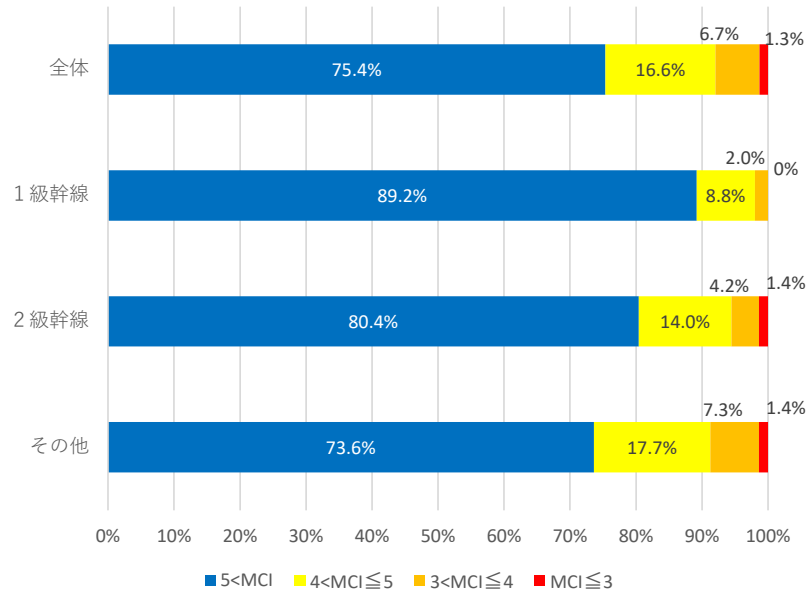


図-1 舗装の損傷状況 (MCIによる延長割合)

**※路面性状調査とは**

舗装のひび割れ・わだち掘れ・平坦性等を調査し、そのデータを基に道路の状態を把握する調査です。

**※MCI (舗装維持管理指数) とは**

舗装の供用性を「ひび割れ率」、「わだち掘れ量」、「平坦性」という路面性状値によって定量的に評価したものです。最大値が10で、値が小さいほど舗装が損傷状態にあることを示します。

### (3) 道路予算の現状と課題

本市の歳出面では、高齢化の進展により社会保障関連経費が今後も増加すると見込まれており、道路整備などに多くの財源を充てることが、一層難しくなることが予想されています。また、道路施設の多くが高度経済成長期に集中的に整備されたため、今後は、修繕・更新時期が同じ期間に集中し、大きな財政負担となることも予想されます。

## 3. 舗装の維持管理の基本的な考え方

### (1) 舗装管理の基本方針

道路舗装は、緊急輸送道路やバス路線の指定の有無などにより管理道路の分類毎に管理基準を定め、計画的な維持管理を実施します。

また、PDCAサイクルを確実に実行することで、適切な維持管理を実施していくこととします。

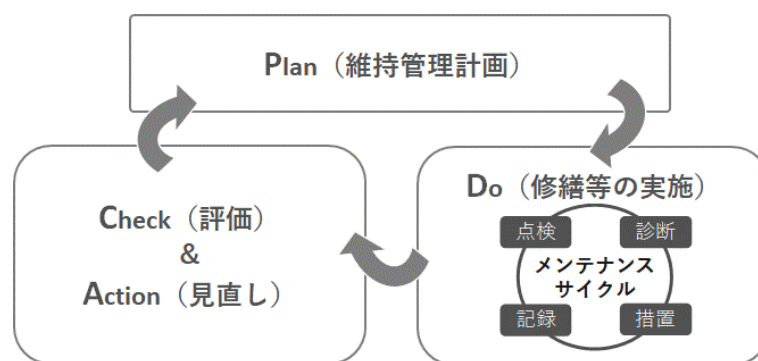


図-2 PDCAサイクル

計画的な維持管理を実施するため、道路に関する「台帳」や「点検結果」、「修繕履歴」等のデータを蓄積し、検証することにより、道路舗装の健全性評価や劣化予測式を見直し、中長期的な維持管理につなげるとともに効率的な維持管理を実施します。

## (2) 管理道路の分類（グループ分け）

本市が計画対象とする道路を、道路区分及び緊急輸送道路等の道路特性により分類します。

表-3 道路の分類

分類	対象道路	計画対象	
		路線数	延長(km)
分類C	C1 幹線道路のうち、以下に該当する道路 ・緊急輸送道路等 （緊急輸送路、補完道路、広域避難経路等） ・バス路線 ・大型車交通量 250 台/日・方向（N 5）以上	40	58.5
	C2 幹線道路のうち、C 1 以外の道路 一般道路のうち、以下に該当する道路 ・緊急輸送道路等 （緊急輸送路、補完道路、広域避難経路等） ・バス路線 ・大型車交通量 100 台/日・方向（N 4）以上 ・地域活動を支える重要な道路	211	72.3
分類D	分類Cの道路以外の一般道路	1,166	249.5
合 計		1,417	380.3

### ※道路の分類とは

道路の役割や性格、修繕実施の効率性、ストック量、管理体制等の観点から、道路を分類A～Dに区分し、それぞれの区分に応じたメンテナンスサイクルを構築します。道路の分類のイメージを下表に示します。

道路の分類のイメージ

大分類	小分類	分類	主な道路 (イメージ)
	高規格幹線道路 等 (高速走行など求められるサービス水準が高い道路)	A	高速道路
	損傷の進行が早い道路 等 (例えば大型車交通量が多い道路)	B	直轄国道
	損傷の進行が緩やかな道路 等 (例えば大型車交通量が少ない道路)	C	補助国道・県道
	生活道路 等 (損傷の進行が極めて遅く、 占用工事等の影響が無ければ長寿命)	D	政令市・一般市道 市町村道

出典：舗装点検要領（平成 28 年 10 月 国土交通省 道路局）

### ※交通量区分とは

舗装の設計に用いる区分で、平均的な1日1方向当りの大型車交通量により区分されるものです。

交通量区分

交通量区分	舗装設計交通量 (台/日・方向)
N7	3,000 以上
N6	1,000 以上 3,000 未満
N5	250 以上 1,000 未満
N4	100 以上 250 未満
N3	40 以上 100 未満
N2	15 以上 40 未満
N1	15 未満

出典：舗装設計施工指針（平成18年度版）

### (3) 点検方法・点検頻度

道路舗装の定期点検は、神奈川県市町村版点検要領【舗装編】に基づき、概ね5年に1回の頻度で路面性状調査を実施します。更に、道路舗装の損傷が急激に進行した場合や、路盤の損傷が疑われる場合には、FWD（Falling Weight Deflectometer：舗装構造評価）調査\*等の詳細調査を行い、適切な舗装構成を確認し修繕を実施します。

なお、道路の分類に関わらず、日常的な道路パトロールによる巡視・巡回、市民情報を基に、目視点検等により道路の状態を把握します。

### ※FWD調査とは

Falling Weight Deflectometer の略称で、重錘を落下させたときの舗装のたわみ量を調査します。調査した結果から、舗装とその下にある路盤が適正な構造となっているかを検討します。

#### (4) 管理基準

道路舗装の健全性の診断区分（以下「健全性」という。）は、神奈川県市町村版点検要領【舗装編】に基づいて、点検を実施し把握します。管理基準は、道路の分類毎に設定し、点検結果からMC I を用いて、表-4 に示す内容で管理します。

表-4 管理基準

道路の分類		管理基準
分類C	C1	MC I 4.0 以下
	C2	MC I 3.0 以下
分類D		MC I 3.0 以下

#### (5) 健全性の診断と措置内容



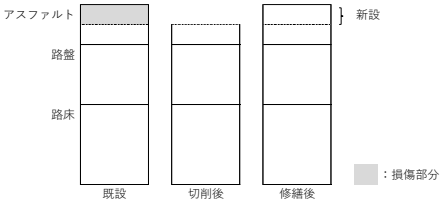
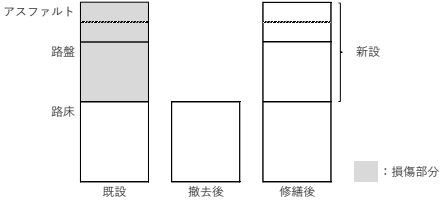
道路舗装の健全性は、表-5 により診断します。また、健全性毎の措置内容を表-6 に示します。なお、本計画の修繕は、健全性「Ⅲ」の箇所を対象としています。

表-5 道路舗装の健全性の診断・措置内容

健全性	状態・措置内容	MC I	
		分類 C1	分類 C2
I 健全	損傷レベル小：管理基準に照らし、劣化の程度が小さく、舗装表面が健全な状態である。基本的に措置を行いません。	5.1 以上	
II 表層機能保持段階	損傷レベル中：管理基準に照らし、劣化の程度が中程度である。損傷に応じた措置（補修）を行います。	5.0 以下 4.1 以上	5.0 以下 3.1 以上
III 修繕段階	損傷レベル大：管理基準に照らし、それを超過している又は早期の超過が予見される状態である。措置を行います。	4.0 以下	3.0 以下



表-6 措置の事例

健全性	措置方法	概要
II	<p>パッチング</p>  <p>出典：舗装点検必携 平成29年度版 (公益社団法人 日本道路協会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスファルト舗装表面に発生した直径0.1～1m程度の穴（ポットホール）にアスファルトを被せ、応急的に穴を塞ぐ工法です。</li> </ul>
	<p>シール材注入</p>  <p>出典：舗装点検必携 平成29年度版 (公益社団法人 日本道路協会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装のひび割れにシール材を充填して補修する工法です。</li> <li>・シール材をひび割れに注入することで、ひび割れから舗装内部への雨水等の浸透を防ぎ、舗装の構造としての性能低下を予防します。</li> </ul>
III	<p>切削オーバーレイ</p>  <p>既設 切削後 修繕後</p> <p>■：損傷部分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽微な損傷状態にあるアスファルト層を切削機で除去し、新しいアスファルト層で置き換える工法です。</li> <li>・交通荷重を分散し、交通の安全性、快適性など、路面の機能を回復することができます。</li> </ul>
	<p>打換え</p>  <p>既設 撤去後 修繕後</p> <p>■：損傷部分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装の破損が著しいアスファルト層と路盤又は路盤の一部まで撤去し、新しいアスファルト層、路盤層で置き換える工法です。</li> <li>・舗装の支持力が低下するような、構造的な損傷を修繕することができます。</li> </ul>

## 4. 計画期間

### (1) 計画期間

道路舗装の定期点検後に、本計画の見直しを予定していることから、本計画の計画期間は、5年間とします。

### (2) 計画期間内の修繕費用の見通し

計画期間内の修繕は、【別紙1】のとおり計画的に実施し、総額で約21.3億円を想定しています。

## 5. 対策の優先順位

修繕等の対策は、損傷状況から道路機能に支障が生じる可能性が高い箇所から優先的に行い、安全性を確保する必要があります。また、より適切な優先順位とするためには、利用状況や周辺環境等を踏まえた施設の重要性を加味することが重要です。

よって、点検結果で健全性「Ⅲ」と診断された道路は、表-7の評価項目である損傷状況及び重要度で評価し、修繕の優先順位付けを行った上で、予算を平準化し計画的に修繕します。

表-7 優先度に関する評価項目

評価項目		評価項目の考え方
損傷状況 (MC I)		点検結果から舗装損傷状況 (MC I) により評価します。
重要度	利用者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 緊急輸送道路の指定の有無</li><li>・ 道路の種別</li><li>・ 道路の交通量</li><li>・ バス路線の指定の有無</li><li>・ 利用環境 (通学路指定、市街地)</li></ul>
	管理者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 施工規模 (車線数)</li><li>・ 大型車交通量</li></ul>

## 6. 舗装の状態、対策内容、実施時期

### (1) 診断結果

令和元年度の点検による診断結果を表-8及び図-3に示します。

表-8 健全性の診断結果

(単位：km)

道路の分類	健全性Ⅰ	健全性Ⅱ	健全性Ⅲ
全体	286.6(75.4%)	86.7(22.8%)	6.7(1.8%)
分類C1	50.0(85.5%)	6.3(10.7%)	2.2(3.8%)
分類C2	52.5(72.7%)	18.3(25.4%)	1.4(1.9%)
分類D	184.1(73.9%)	62.1(24.9%)	3.1(1.2%)

※分類Dは、分類C2と同じ診断基準として算出(参考)

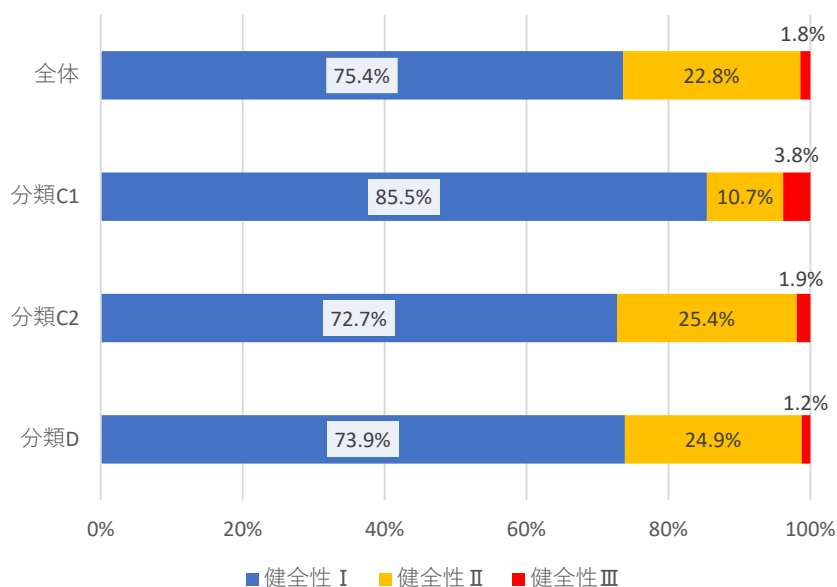


図-3 健全性の診断結果(延長割合)

### (2) 対策内容と実施時期

道路舗装の今後概ね5年間で対策する修繕内容及び時期については、令和元年度の点検結果に基づき、【別紙1】のとおり計画的に修繕を実施しますが、市民生活に支障が生じたり、維持管理上、同時に修繕をすることが望ましいなどの場合は、適宜、実施することとします。

今後概ね5年間に実施する舗装の修繕内容

## ・道路の分類C

番号	路線名	枝番	起点(m)	終点(m)	区間延長(m)	分類	点検年度	MCI	調査時点健全性	措置内容
1	つきみ野169号	0	100	400	300	C2	2019	3.1	II	打換え、切削オーバーレイ
2	久田山谷線	0	1600	1800	200	C1	2019	4.4	II	切削オーバーレイ
3	深見草柳線	0	500	800	300	C1	2019	5.0	II	打換え
4	大和南14号	0	0	200	200	C2	2019	2.7	III	打換え
5	中央林間10号	0	0	200	200	C2	2019	3.0	III	打換え
6	中福田南庭線	0	1100	1400	300	C1	2019	4.7	II	打換え、切削オーバーレイ
7	東原桜森線	0	900	1000	100	C1	2019	3.9	III	切削オーバーレイ
8	内山33号	0	0	670	670	C2	2019	4.0	II	打換え
9	内山38号	0	0	200	200	C1	2019	5.7	I	切削オーバーレイ
10	桜森7号	0	0	100	100	C2	2020	3.9	II	打換え
11	つきみ野17号	0	0	260	260	C2	2019	2.9	III	切削オーバーレイ
12	つきみ野86号	0	0	200	200	C1	2019	5.0	II	打換え
13	つきみ野86号	0	400	500	100	C1	2019	3.7	III	打換え
14	久田山谷線	0	0	600	600	C1	2019	3.9	III	打換え、切削オーバーレイ
15	久田山谷線	0	2200	2500	300	C1	2019	3.8	III	打換え
16	桜森8号	0	0	100	100	C2	2019	3.1	II	打換え
17	桜森8号	0	200	300	100	C2	2019	3.8	II	打換え
18	上和田305号	0	300	600	300	C2	2019	2.5	III	打換え
19	東原桜森線	0	300	400	100	C1	2019	5.2	I	切削オーバーレイ
20	光ヶ丘久田線	0	0	200	200	C1	2019	4.3	II	切削オーバーレイ
21	光ヶ丘久田線	0	500	600	100	C1	2019	5.0	II	打換え
22	桜ヶ丘宮久保線	0	300	600	300	C1	2019	4.4	II	切削オーバーレイ
23	桜ヶ丘宮久保線	0	700	800	100	C1	2019	4.5	II	切削オーバーレイ
24	三ツ境下草柳線	0	1100	1200	100	C1	2019	4.8	II	切削オーバーレイ
25	三ツ境下草柳線	0	1400	1600	200	C1	2019	5.0	II	切削オーバーレイ
26	上和田143号	0	0	300	300	C2	2019	2.6	III	打換え
27	上和田143号	0	400	700	300	C2	2019	2.5	III	打換え
28	上和田324号	0	100	240	140	C2	2019	3.9	II	打換え
29	中央51号	0	0	600	600	C2	2019	2.8	III	打換え
30	南大和相模原線	0	300	500	200	C1	2019	4.5	II	切削オーバーレイ
31	南大和相模原線	0	3700	3800	100	C1	2019	4.0	III	切削オーバーレイ
32	福田相模原線2号	0	800	900	100	C1	2019	4.7	II	切削オーバーレイ
33	福田相模原線2号	0	1500	1600	100	C1	2019	5.0	II	切削オーバーレイ
34	福田相模原線2号	0	2600	2900	300	C1	2019	4.4	II	切削オーバーレイ
35	福田相模原線3号	0	900	1000	100	C1	2019	4.9	II	切削オーバーレイ
36	公所中央林間線	0	1600	1700	100	C1	2019	5.1	I	切削オーバーレイ
37	三ツ境下草柳線	0	0	500	500	C1	2019	3.9	III	打換え、切削オーバーレイ
38	新道下篠山線	0	500	700	200	C1	2019	4.7	II	切削オーバーレイ
39	南林間駅東線	0	100	200	100	C1	2019	5.0	II	切削オーバーレイ
40	入村扇野線	0	0	100	100	C1	2019	4.1	II	打換え
41	入村扇野線	0	2400	2500	100	C1	2019	4.7	II	切削オーバーレイ
42	緑橋山谷線	0	0	930	930	C1	2019	3.6	III	打換え、切削オーバーレイ
43	つきみ野108号	0	0	100	100	C2	2019	4.0	II	打換え
44	公所山谷線	0	0	100	100	C1	2019	4.9	II	切削オーバーレイ
45	公所山谷線	0	1300	1400	100	C1	2019	4.4	II	切削オーバーレイ
46	坂上一の関線	0	400	700	300	C1	2019	3.8	III	打換え、切削オーバーレイ
47	坂上一の関線	0	1440	1640	200	C1	2019	4.5	II	切削オーバーレイ
48	桜ヶ丘境橋線	0	0	200	200	C1	2019	4.7	II	切削オーバーレイ
49	三ツ境下草柳線	0	800	900	100	C1	2019	5.3	I	切削オーバーレイ
50	上和田62号	0	500	550	50	C2	2019	3.9	II	打換え
51	新道下篠山線	0	2000	2100	100	C1	2019	5.4	I	切削オーバーレイ
52	大塚戸桜山線	0	100	255	155	C1	2019	3.8	III	打換え、切削オーバーレイ
53	大塚戸桜山線	0	535	600	65	C1	2019	4.5	II	切削オーバーレイ
54	大塚戸桜山線	0	1700	1900	200	C1	2019	4.6	II	切削オーバーレイ
55	大塚戸桜山線	0	2335	2400	65	C1	2019	4.6	II	切削オーバーレイ
56	中央林間85号	0	220	300	80	C2	2019	4.0	II	打換え

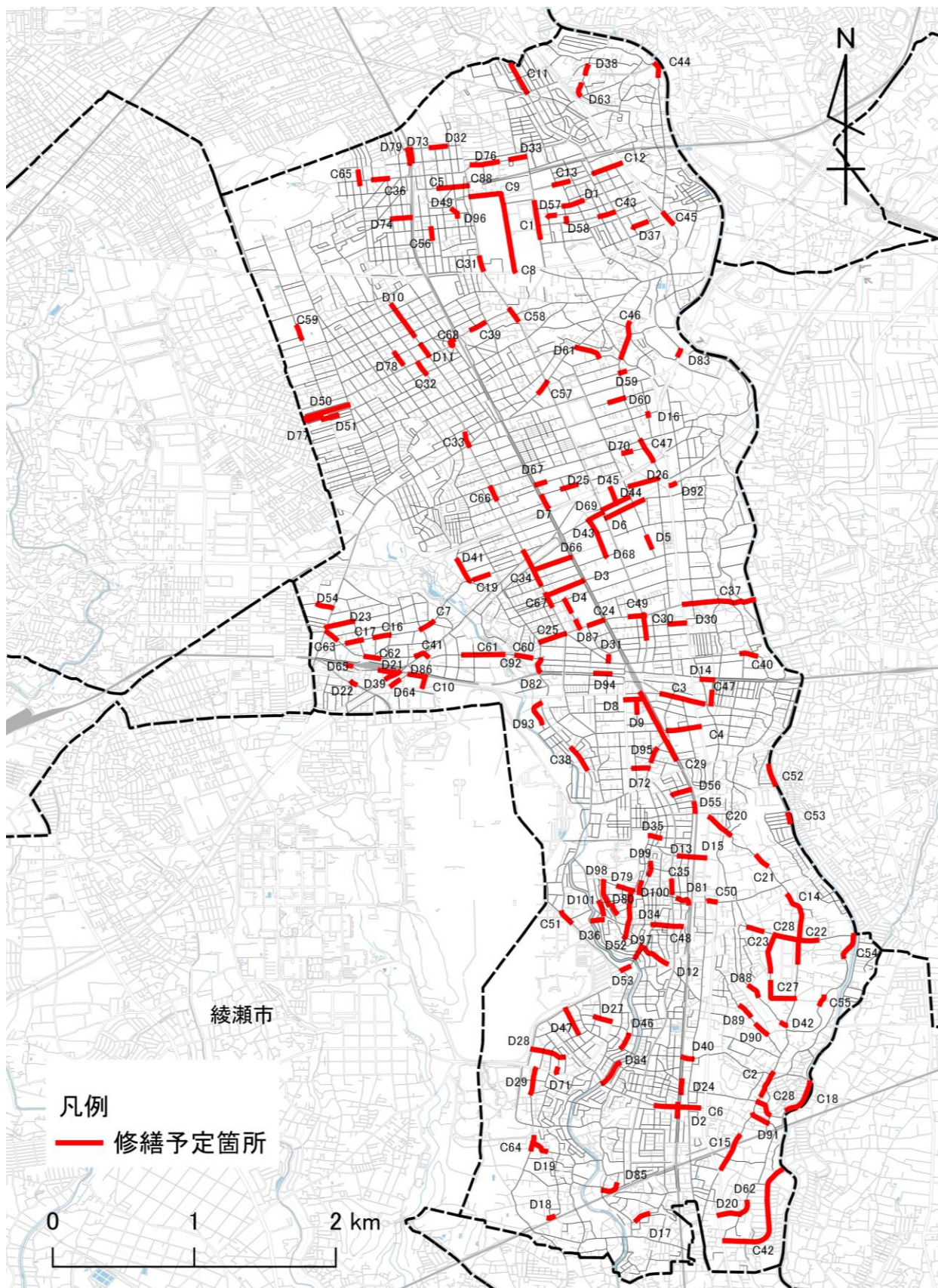
番号	路線名	枝番	起点(m)	終点(m)	区間延長(m)	分類	点検年度	MCI	調査時点健全性	措置内容
57	鶴間宿線	0	300	400	100	C1	2019	5.1	I	切削オーバーレイ
58	南大和相模原線	0	3200	3300	100	C1	2019	5.3	I	切削オーバーレイ
59	南林間91号	0	100	200	100	C2	2019	3.1	II	打換え
60	入村扇野線	0	1600	1700	100	C1	2019	5.3	I	切削オーバーレイ
61	入村扇野線	0	1800	2100	300	C1	2019	4.5	II	切削オーバーレイ
62	入村扇野線	0	2800	2900	100	C1	2019	4.7	II	切削オーバーレイ
63	入村扇野線	0	3200	3300	100	C1	2019	5.3	I	切削オーバーレイ
64	福田原高座渋谷線	0	100	200	100	C1	2019	5.2	I	切削オーバーレイ
65	福田相模原線1号	0	200	300	100	C1	2019	4.9	II	切削オーバーレイ
66	福田相模原線2号	0	2000	2100	100	C1	2019	5.4	I	切削オーバーレイ
67	福田相模原線2号	0	3000	3100	100	C1	2019	5.4	I	切削オーバーレイ
68	南林間座間線	1	0	90	90	C1	2019	4.2	II	切削オーバーレイ

・道路の分類D（参考）

番号	路線名	枝番	起点(m)	終点(m)	区間延長(m)	分類	点検年度	MCI	調査時点健全性	措置内容
1	つきみ野100号	0	165	300	135	D	2019	2.5	Ⅲ	打換え、切削オーバーレイ
2	渋谷23号	0	200	300	100	D	2019	2.5	Ⅲ	打換え
3	上草柳26号	0	0	300	300	D	2019	2.0	Ⅲ	打換え
4	上草柳3号	0	0	100	100	D	2019	2.5	Ⅲ	打換え
5	深見西17号	0	300	400	100	D	2019	2.1	Ⅲ	打換え
6	深見西18号	0	200	500	300	D	2019	1.7	Ⅲ	打換え、切削オーバーレイ
7	深見西21号	0	200	300	100	D	2019	3.7	Ⅱ	打換え
8	中央34号	0	0	130	130	D	2019	2.3	Ⅲ	打換え
9	中央55号	0	0	100	100	D	2019	3.7	Ⅱ	打換え
10	南林間31号	0	100	400	300	D	2019	3.5	Ⅱ	打換え
11	南林間31号	0	500	600	100	D	2019	2.6	Ⅲ	打換え
12	福田105号	0	300	500	200	D	2019	2.8	Ⅲ	打換え
13	柳橋24号	0	0	100	100	D	2019	3.6	Ⅱ	切削オーバーレイ
14	大和南2号	0	0	80	80	D	2020	3.9	Ⅱ	打換え
15	上和田100号	0	0	80	80	D	2020	4.8	Ⅱ	切削オーバーレイ
16	下鶴間95号	0	285	300	15	D	2019	2.9	Ⅲ	打換え
17	下福田18号	0	100	200	100	D	2019	3.5	Ⅱ	打換え
18	下福田201号	0	300	330	30	D	2019	3.2	Ⅱ	打換え
19	下福田280号	0	100	230	130	D	2019	3.5	Ⅱ	打換え、切削オーバーレイ
20	下和田34号	0	0	140	140	D	2019	3.5	Ⅱ	打換え、切削オーバーレイ
21	桜森14号	0	0	100	100	D	2019	3.5	Ⅱ	打換え
22	桜森34号	0	100	130	30	D	2019	3.3	Ⅱ	打換え
23	桜森4号	0	0	200	200	D	2019	3.1	Ⅱ	打換え
24	渋谷1号	0	200	300	100	D	2019	3.3	Ⅱ	打換え
25	深見西12号	0	100	200	100	D	2019	3.1	Ⅱ	打換え
26	深見西16号	0	0	200	200	D	2019	3.4	Ⅱ	打換え
27	代官10号	0	0	100	100	D	2019	3.0	Ⅲ	打換え
28	代官42号	0	0	230	230	D	2019	3.4	Ⅱ	打換え、切削オーバーレイ
29	代官51号	0	0	200	200	D	2019	3.3	Ⅱ	打換え
30	大和東2号	0	0	100	100	D	2019	3.4	Ⅱ	打換え
31	中央10号	0	100	140	40	D	2019	3.4	Ⅱ	打換え
32	内山18号	0	100	200	100	D	2019	3.4	Ⅱ	打換え
33	内山24号	0	0	100	100	D	2019	3.1	Ⅱ	打換え
34	福田63号	0	0	300	300	D	2019	3.3	Ⅱ	打換え、切削オーバーレイ
35	柳橋32号	0	100	170	70	D	2019	3.3	Ⅱ	打換え
36	福田118号	0	0	70	70	D	2019	2.8	Ⅲ	打換え
37	つきみ野118号	0	100	200	100	D	2019	3.6	Ⅱ	打換え
38	公所19号	0	100	160	60	D	2019	2.9	Ⅲ	打換え
39	桜森16号	0	0	100	100	D	2019	3.6	Ⅱ	打換え
40	渋谷2号	0	120	200	80	D	2019	3.0	Ⅲ	打換え
41	上草柳171号	0	100	300	200	D	2019	3.6	Ⅱ	打換え
42	上和田133号	0	1000	1030	30	D	2019	3.6	Ⅱ	打換え
43	深見西27号	0	0	120	120	D	2019	1.7	Ⅲ	打換え
44	深見西30号	0	100	300	200	D	2019	2.4	Ⅲ	打換え、切削オーバーレイ
45	深見西33号	0	0	130	130	D	2019	2.2	Ⅲ	打換え
46	代官19号	0	0	100	100	D	2019	3.6	Ⅱ	打換え
47	代官27号	0	0	200	200	D	2019	1.7	Ⅲ	打換え
48	大和南1号	0	100	200	100	D	2019	2.3	Ⅲ	打換え
49	中央林間71号	0	100	140	40	D	2019	2.4	Ⅲ	打換え
50	南林間168号	0	0	300	300	D	2019	2.6	Ⅲ	打換え
51	南林間170号	0	100	200	100	D	2019	3.5	Ⅱ	打換え
52	福田103号	0	0	100	100	D	2019	3.5	Ⅱ	打換え
53	福田115号	0	200	260	60	D	2019	3.5	Ⅱ	打換え
54	文ヶ岡136号	0	0	100	100	D	2019	3.5	Ⅱ	打換え
55	柳橋1号	0	300	370	70	D	2019	3.5	Ⅱ	打換え
56	柳橋4号	0	0	130	130	D	2019	2.4	Ⅲ	打換え
57	つきみ野104号	0	400	450	50	D	2019	3.8	Ⅱ	打換え

番号	路線名	枝番	起点(m)	終点(m)	区間延長(m)	分類	点検年度	MCI	調査時点健全性	措置内容
58	つきみ野159号	0	100	130	30	D	2019	3.7	Ⅱ	打換え
59	下鶴間72号	0	100	130	30	D	2019	3.7	Ⅱ	打換え
60	下鶴間80号	0	0	100	100	D	2019	3.8	Ⅱ	打換え
61	下鶴間87号	0	0	200	200	D	2019	3.3	Ⅱ	打換え、切削オーバーレイ
62	下和田35号	0	0	100	100	D	2019	3.8	Ⅱ	打換え
63	公所59号	0	100	200	100	D	2019	3.1	Ⅱ	打換え
64	桜森18号	0	200	270	70	D	2019	3.3	Ⅱ	打換え
65	桜森28号	0	70	100	30	D	2019	3.2	Ⅱ	打換え
66	上草柳20号	0	0	300	300	D	2019	3.1	Ⅱ	打換え
67	深見西10号	0	300	360	60	D	2019	3.8	Ⅱ	打換え
68	深見西25号	0	0	200	200	D	2019	2.9	Ⅲ	打換え
69	深見西36号	0	0	100	100	D	2019	3.2	Ⅱ	打換え
70	深見西4号	0	100	150	50	D	2019	3.7	Ⅱ	打換え
71	代官65号	0	100	130	30	D	2019	3.0	Ⅲ	打換え
72	中央48号	0	0	100	100	D	2019	3.3	Ⅱ	打換え
73	中央林間19号	0	0	100	100	D	2019	2.9	Ⅲ	打換え
74	中央林間78号	0	0	130	130	D	2019	3.8	Ⅱ	打換え
75	中央林間95号	0	0	100	100	D	2019	3.7	Ⅱ	打換え
76	内山24号	0	200	400	200	D	2019	3.8	Ⅱ	打換え
77	南林間174号	0	0	100	100	D	2019	3.3	Ⅱ	打換え
78	南林間37号	0	200	300	100	D	2019	3.8	Ⅱ	打換え
79	福田68号	0	0	100	100	D	2019	3.8	Ⅱ	打換え
80	福田77号	0	100	170	70	D	2019	2.9	Ⅲ	打換え
81	柳橋100号	0	0	100	100	D	2019	3.7	Ⅱ	打換え
82	下草柳1号	0	0	100	100	D	2019	3.5	Ⅱ	打換え
83	下鶴間135号	0	400	440	40	D	2019	3.4	Ⅱ	打換え
84	下福田109号	0	0	200	200	D	2019	3.9	Ⅱ	打換え
85	下福田193号	0	100	230	130	D	2019	3.5	Ⅱ	打換え
86	桜森18号	0	0	100	100	D	2019	3.5	Ⅱ	打換え
87	上草柳3号	0	200	260	60	D	2019	3.9	Ⅱ	打換え
88	上和田133号	0	600	700	100	D	2019	3.9	Ⅱ	打換え
89	上和田153号	0	500	600	100	D	2019	3.9	Ⅱ	打換え
90	上和田153号	0	700	800	100	D	2019	3.9	Ⅱ	打換え
91	上和田334号	0	0	100	100	D	2019	3.5	Ⅱ	打換え
92	深見東2号	0	200	230	30	D	2019	3.4	Ⅱ	打換え
93	草柳51号	0	0	200	200	D	2019	3.5	Ⅱ	打換え
94	中央18号	0	100	200	100	D	2019	3.9	Ⅱ	打換え
95	中央45号	0	100	200	100	D	2019	3.9	Ⅱ	打換え
96	中央林間55号	0	175	200	25	D	2019	3.9	Ⅱ	打換え
97	福田115号	0	0	100	100	D	2019	3.9	Ⅱ	打換え
98	福田71号	0	100	300	200	D	2019	3.2	Ⅱ	打換え
99	柳橋75号	0	0	100	100	D	2019	3.9	Ⅱ	打換え
100	柳橋77号	0	100	190	90	D	2019	3.9	Ⅱ	打換え
101	柳橋79号	0	200	300	100	D	2019	3.3	Ⅱ	打換え

今後概ね5年間に実施する舗装の修繕が必要な箇所図



※この地図は、国土地理院発行の基盤地図情報を使用したものです。  
 ※地図中の番号は、道路の分類C及びDの番号を示し、道路の分類Cは「C」、道路の分類Dは「D」を番号の前に示します。